

蒲生干潟の自然と生物の現状 2023

蒲生を守る会 熊谷佳二



2022.7.10

2023.5.21

植生の回復状況



ハマエンドウのお花畑

2023.5.14




1週間後
2023.5.21

ハマヒルガオのお花畑




3



海岸砂丘には
コウボウムギ

2023.5.21



内陸側には
コウボウシバ




2023.5.21

4



水辺に近い場所
にはシオクグ
(塩生植物)

2023.5.21



シオクグの
花(実)



さらに水辺寄りには
ハマツツナが生育

5



ビオトープを彩る
テリハノイバラ

2023.5.21



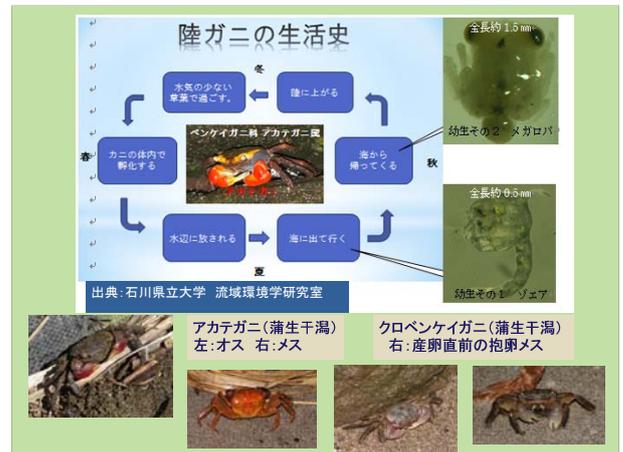
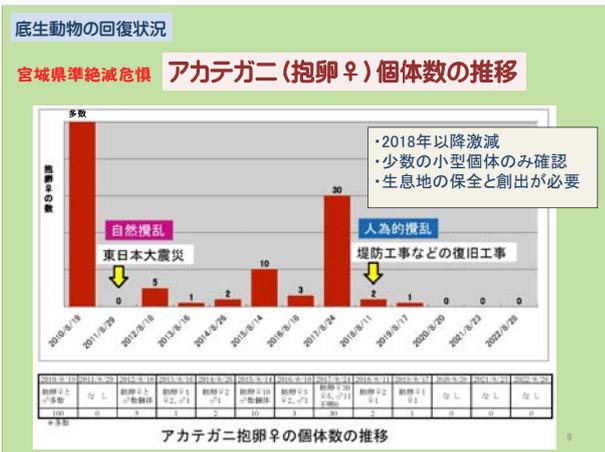
海岸林近くのハマナス



ヨシヤスキに
埋もれてしまう！



2023.5.21



震災前の保全対策 2010年に実施



旧防潮堤背後の溝 2010 5.31



溝に落ちたクロベンケイガニの死体 2010 5.31



旧防潮堤にかけられた網
→まもなく劣化 2010 5.31

対策



溝に設置された新しい網 2010 7.18



落下した生物を救済するため溝に網を設置
↓
這い上がるクロベンケイガニ
2010 7.18






河口の(旧)防潮堤にも青い網を要所に設置
→アカテガニ産卵放仔の対策！ 2010 7.18




多数のアカテガニが利用
写真提供: 河川課 柳沼氏 2010 8.15






しかし、登れないカニの姿も…
2010 8.10(熊谷)

順応的管理の一例



2010 8.15(柳沼)



小さな自然再生

震災後、部分的に残った青い網
右手奥は松林跡地
2011 5.11



自然を守ろうとした精神は残っている



干潟に大量の海藻(オゴノリ)
2023 4.24

大発生したホソウミナガが分解
2023 5.21




一部はどろどろに腐敗→富栄養化？

